

# 60年ぶりの虫送り太鼓

7月24日(金)に、野村島で虫送りが復活しました。この行事は、昭和30年代初めまで村の有志が60数カ所で虫送り太鼓をたたくのが恒例でした。その後、この風習は途絶え、桑野神社の神事のみで行われていたのですが、今年越中いさみ太鼓保存会(高木民雄会長)の方々の協力もあり、同神社宮司の野村泰則さんが中心となって60年ぶりに行われました。

虫送りは「熱送り」とも呼ばれ、昔は稲作において一番の敵であったイナゴなどの発生により稲が熱に当たったように黄色くなって稲穂が実らなくなるので、太鼓を打ち鳴らし、熱(虫)を追い払おうとして行われました。

この日は、午前6時から桑野神社で恒例の虫送り神事を行い、その後、野村島の真ん中の中之島太子堂の前広場で虫とコロナウイルスを追い払う虫送り太鼓を越中いさみ太鼓保存会のメンバー9人で打ちならしました。

(高田 法仁)



桑野神社での神事



神社境内で越中いさみ太鼓



中之島太子堂にて虫を追い払う

## 一人暮らし高齢者の方に 花鉢を届けました

7月21日(火)、東野尻公民館青少年育成部会と東野尻地区福祉推進協議会では、一人暮らし高齢者宅に「お元気で過ごしておられるか」声かけ訪問の実施に合わせて、花鉢を届けました。

この事業は、平成14年から子供たちと民生委員、主任児童委員等の方々と一緒に訪問することで、子供たちにボランティア活動の心を育てるためにと取り組まれています。

今年も、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちに参加していただくことができませんでした。

高齢者の方々は、皆さんお元気で笑顔で花鉢を受け取られていました。

(表 とし美)



花も笑顔もいっぱい